



しげひら

第8号 令和3年1月22日

学校ウェブサイト: www.ed.city.hioki.kagoshima.jp/~jh-kamityu/blogn2611a/blognplus/

上市来中キャッチフレーズ

～個性輝き、協力し、笑顔あふれる学校～

おもな行事

2日(火) 学級PTA(3年)
5日(金) 入学説明会
17日(水)～19日(金)
学年末テスト
19日(金) 避難訓練
25日(木) 授業参観・学級PTA(1・2年)



9日(火)・10日(水)

公立高校学力検査

12日(金) 3年生を送る会

16日(火) 第74回卒業式

25日(木) 修了式

26日(金) 辞任式

PTA送別会



仕上げの3学期～有終の美を

校長 西園 浩二



2021年、新年あけましておめでとうございます。日頃から本校教育へのご理解・ご支援に対しまして、保護者の皆様をはじめ関係各位の皆様にご心からお礼を申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

この3学期は、次の学年の準備の学期であり、1年間を振り返りまとめを行う総仕上げの学期となります。新型コロナウイルス感染症対策は今後も続けていくこととなりますが、健康安全を第一に、生徒の皆さんにとって楽しく活気ある1年となることを期待したいところです。

さて、本校の後期生徒会本部は会長に濱部君、副会長に上原君、書記に水澤さんが選任され、新たな体制で活動が始まっています。生徒会専門部も2年生が中心となり自主的に活動し、新たな一歩を踏み出しました。「笑顔あふれる学校」「活気ある学校」をスローガンに掲げ、グループに分かれて行うあいさつ運動や水曜日の朝のスポーツ活動、朝のボランティア活動などに取り組んでいます。これから上市来中学生徒会がどのようによりよい変貌を遂げるのか、大変楽しみです。

青少年赤十字活動の精神でもある「気づき・考え・実行する」という考え方を基に、自分たちから進んで計画し、創意工夫しながら学校生活をより明るく豊かで、潤いのある学校へと作り上げていってほしいと思います。

先日、1・2年生は鹿児島学習定着度調査がありました。小学校から中学校までの既習内容がどれだけ定着しているのかを計る調査となっていました。自分の学力を把握し、これからしっかり改善していきましょう。また、3年生はいよいよ高校入試が始まります。それぞれの希望進路先へのラストスパート、それぞれの目標の実現に向かって学力の定着・向上に取り組んでください。応援しています。

3年生にとって3学期は、義務教育9年間の仕上げの学期です。1、2年生にとっても、学年のまとめと次の学年に進級するための準備となる大切な学期となります。有終の美を飾れるよう頑張りましょう。

資源回収&門松作り

12月19日(土)小中合同PTA資源回収と門松作りを行いました。資源回収では、朝早くからたくさんの方々の御協力をいただき、誠にありがとうございました。資源回収後、小中PTA総務部の皆様に立派な門松を立ていただき、学校も素晴らしい年を越せました。ありがとうございました。



修学旅行



12月8日～10日、2泊3日の行程で修学旅行を実施しました。太宰府天満宮、原爆資料館、グリーンランド等の各旅行地で、感染症対策をしっかり行い、充実した旅行となりました。

国際交流員派遣授業



12月17日(木)国際交流員派遣授業が実施されました。3名の講師の方々に来校していただき、イギリス・韓国・マレーシアの文化・伝統・生活・習慣について学びました。

椎茸菌打ち体験



1月9日(土)本校で椎茸菌打ち体験が積雪の中、実施されました。2時間で100本の椎茸原木を完成させることができました。2年後の収穫が大変楽しみです。

芸術鑑賞会



12月12日(土)本校で芸術鑑賞会が実施されました。音楽の歴史を学習しながら、プロの演奏家3名の奏でる音色に魅了された2時間となりました。

学校評価【2学期】 (評価基準 4 思う 3 おおむね思う 2 少し思う 1 思わない)

生徒アンケート

《良かった項目》

- ①学校は、物が整理整頓され、施設面も整っている。(3.3)
- ②学校は、生徒の意見を取り入れ、楽しくできるよう工夫されている行事が多い。(3.4)
- ③先生方は、いじめや悪いことをしたとき、きちんと指導してくれる。(3.4)
- ④私は学校が楽しい。(3.3)
- ⑤私は、毎日、朝食をとっている。(3.7)
- ⑥私は、すすんであいさつをしている。(3.5)



《改善が必要な項目》

- ①私は、校訓を理解して学校生活を送っている。(2.7)
- ②私は、十分な家庭学習ができています。(2.4)
- ③私は、家でよく手伝いをしている。(2.5)

保護者アンケート

《良かった項目》

- ①職員は、生徒の実態に応じて一人一人を大切に指導を行っていると思う。(3.5)
- ②職員は、子どもたちのことを理解し励ますなど望ましい信頼関係を築くよう努めている。(3.5)
- ③職員は、子どもたちについての連絡や相談に対して適切に対応している。(3.4)
- ④子どもは、毎日楽しく学校に行っている。(3.5)
- ⑤子どもは、すすんで部活動に参加している。(3.5)
- ⑥学校は、地域や保護者の意見、相談に耳を傾け、それを教育活動に生かすよう努めている。(3.4)



《改善が必要な項目》

- ①家庭では、手伝いや自分の仕事をきちんとさせている。(2.6)
- ②家庭学習の習慣化ができています。(2.7)
- ③家庭では、規則正しい生活を送るためのしつけがきちんとできています。(2.7)
- ④携帯電話やインターネット・ゲーム機などの家庭内ルールやマナーが守られている。(2.6)

鹿児島県作文審査会 入選作品

三番茶の季節

上市来中学校三年 新村 彩華

茶葉の緑が色濃くなる盆の入り、夢を見た。
昼間、なぜか家の縁側に祖父の棺が置いてあって、その中から祖父が、「お茶ちょうだい」とよばよばの声をかけてくる。びっくりしたその瞬間に私は目を覚ます。ああ、じいちゃんとは自分のところの茶が飲みたいんだな、すぐに採れたての三番茶を台所で注いで、祖父の湯飲みに入れて仏壇に供えた。縁側の方から、涼しげな風が吹いた気がして、お茶の渋い香りがふわっと居間中に立ち上った。

祖父が私たちの元を去ったのは、三年前の十一月のことだ。退院直前に思いがけず高熱を出し、それが要因になってしまったのだ。保育園に入ること、同居するようになってからだが、べったり、というよりは、自然といつも側にいる存在、それが祖父だった。

当時、よく祖父に買い物に連れて行ってもらったのを覚えている。ハンドルを握る祖父の右手は、小指と薬指、そして中指の半分がない。「新村製茶」を立ち上げ、今日まで我が家に続く製茶業を営んできた祖父は、若いときに誤って機械で手を挟んだそう。幼かった私と妹は、たまに指の理由を尋ねていた。

「わいたちが食べたからなくなったのよ。」言葉数の少ない祖父は、いつもそんなふうに適当に、笑いながら答えていた。正解を教えてもらったのは、何年も経った病室で。

祖父との別れは、誰も予期していなかった。入退院を繰り返した後、じきに退院できると調子が上向きになってきた時期だったから。

祖父が亡くなった次の日も、夢を見た。その夢の中でも、祖父との別れを惜しんでいる。

「じいちゃんは、焼酎が大好きだからね。」と言いながら、私と叔母は、焼酎の入ったグラスに菊の花をちょこんと漬けて、それ



を棺の中に寝ている祖父の唇に繰り返し当てているという不思議な夢だ。目が覚めたときも夢のシーンが鮮明に残り、何だっただろうかと思いつきながら、そのまま葬儀に出た。葬儀の最後で別れをするタイミングになり、叔母が焼酎の入ったグラスを持って棺の中の祖父に寄り添った。そのシーン、叔母の立ち位置と祖父の横顔は、昨夜の夢と全く同じ構図だった。そんな夢をたびたび見るものだから、別れを悲しむというより、未だに祖父の存在を身近に感じられているのかもしれない。

九月に入るとすぐ運動会があるので、私たち三年生は、中学校最後の運動会を盛り上げようと、残った夏休みを利用して応援団の練習に熱を上げている。どの種目には誰が出る、そんな話をしていくと、テントで静かに見守る祖父の姿が脳裏にのみがえってくる。

私たち孫の運動会の日、毎年欠かさず朝から駆けつけて、微笑みながら応援をしてくれる。珍しく、徒競走で一番になってゴールテープを切ったときなど、ふとテントに目をやると、祖父が手を叩いて喜んでいて。まるで自分が一番になったかのように、ごつい拍手の音がこもって聞こえてくるようだった。

ご高齢の方はコロナ自粛を、と呼びかけている今年の運動会。それでも祖父はいつも通りに駆けつけてきたはずだ。最上級生という立場で団員を引っ張る私に、やはり手を叩いて激励してくれたことだろう。

家の居間には、祖母と二人で茶葉を摘む器具を引く祖父の写真がある。昔は今のようないくつかの機械がなくて、全工程を手作業で行わなければならなかったという。二人がU字型の鉄製の器具を両側で持ち交互に引き合っていると、下に付いた歯が茶葉を摘む仕組みだ。祖父の表情は真顔だ。私の知らない、働く男の顔の祖父。

隣の北山集落では「火振り」という先祖を送る伝統行事がある。バケツほどの大きさに竹を束ね、それに火を付け七メートルの高さに掲げて左右に振る。すると、盆の夜空にオレンジ色の炎が鮮やかな弧を描く。振り子の動きの奥に、真顔の祖父が浮かんでくる。

今年も過ぎ去っていく。三番茶の季節が。